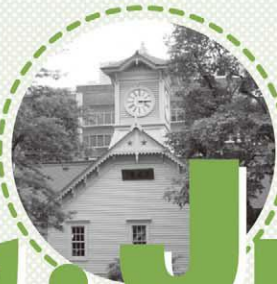


北海道魂見せてます!

元気・現地・JUMP!



北海道で、いま話題のスポットをご紹介します

北海道博物館

札幌市

「北海道」命名150年。名付け親・松浦武四郎の特別展をこの夏開催

平成30年の北海道では「北海道命名150年」を記念して、さまざまな行事や催しが行われている。松浦武四郎は、かつて「蝦夷地」と呼ばれていたこの土地を「北海道」と名づけた人物。幕末期に北海道を6回にわたって調査し、アイヌ民族の生活状況などを詳細に記録した功績などで知られている。北海道博物館ではこの夏、松浦武四郎に関する特別展を開催。唯一残された肖像写真で身につけている大首飾りを始め、貴重な記録を見ることができる。同時に、子ども体験展示室「武四郎を楽しもう!」も開催。いずれも8月26日(日)までの開催となっている。常設展においては、120万年にわたる北海道の歴史、自然、アイヌ文化などを紹介。巨大なナウマン象とマンモスの全身骨格から始まる、迫力ある展示を楽しもう。



北海道博物館
北海道札幌市厚別区厚別町小野幌53-2
☎011-898-0466
📅5月～9月 9:30～17:00、10月～4月 9:30～16:30

地球岬

室蘭市

本当は「地球」じゃない? 断崖絶壁からの大パノラマに感動

「地球岬」と表記される、室蘭市の絶景スポット。だが、実はアイヌ語で「断崖」を意味する「チケプ」が名前の由来となっており、「チケプ」→「チキウ」→「地球」と変化して今の呼び名となった。太平洋に面し、100メートル前後の断崖絶壁が連なる海岸線の風景は「北海道の自然100選」第1位*に輝いたこともあるパノラマが見事。海拔130m、岬の先端に建つ灯台は、大正9年に点灯された。「海の日」には例年一般公開され、灯台の踊り場から絶景を楽しむことができる。元日には、初日の出を参拝するため、地元だけではなく遠方からの観光客も数多く訪れる。また、渡り鳥の通り道にもなっており、ハヤブサの営巣地としても有名だ。



地球岬
北海道室蘭市母恋南町4-77
☎0143-23-0102(室蘭観光協会)

*昭和60年・朝日新聞社主催

銀河の森天文台

陸別町

日本最大級の望遠鏡で、銀河や流星群を堪能できる天文台

昭和62年度、環境庁(現:環境省)より「星空の街」に選定された陸別町に、平成9年に誕生した「銀河の森天文台」。一般公開型天文台としては日本最大級の115cm反射望遠鏡「りくり」のほか、小型望遠鏡3基を備え、惑星や月、星雲や銀河を観測できる。また、昼間でも晴れていれば明るい恒星も見られる。展示室ではオーロラや宇宙に関するパネル展示、コンピューター宇宙探検、週末にはプラネタリウム上映も実施。流星群などの天文現象に合わせて観望会やイベントなども行われるので、気になる方は情報をチェックしてみてください。



銀河の森天文台
北海道足寄郡陸別町宇遠別
☎0156-27-8100
📅4月～9月 14:00～22:30、10月～3月 13:00～21:30

白ひげの滝

美瑛町

「青い池」との周遊を楽しみたい、優美に流れ落ちる白色の滝

JR美瑛駅より車で約30分ほど、シラカバの木が立ち並ぶ「白樺街道」の先にあるのが白金温泉だ。雄大な十勝岳連峰の山麓に位置する温泉郷は、「青い池」が話題になったことで一躍脚光を浴びることになった。青い池を観光するのなら、ぜひ併せて訪れてほしいのが白ひげの滝だ。白金温泉街から歩いて数分ほどの場所があり、岩の間からしみ出た地下水がいく筋もの白い流れになって、コバルトブルーの水を湛えた美瑛川の溪流へと注がれる。秋には紅葉の名所として、また冬には青い池とあわせてライトアップが行われ、カメラ愛好家が多数集まる。



白ひげの滝
北海道上川郡美瑛町白金
☎0166-92-4378(美瑛町観光協会)